

各種調査結果について

第10期計画策定に向けて実施したアンケート調査

- ①介護予防・日常生活圏域二一ズ調査（国様式）
- ②在宅介護実態調査（国様式）
- ③高齢者の健康づくり等に関する実態調査（市独自）
- ④介護保険サービス等に関する実態調査（市独自）
- ⑤認知症になっても安心して暮らせるまちづくりアンケート
《当事者》（市独自）
- ⑥認知症になっても安心して暮らせるまちづくりアンケート
《家族等》（市独自）

アンケート調査の概要

① 介護予防・日常生活圏域二エーズ調査（国様式）

目的	要介護状態になるリスクの発生状況、各種リスクに影響を与える日常生活の状況を把握し、地域の抱える課題を分析する。
調査対象	<u>要介護認定を受けていない65歳以上の市内在住者</u> <u>1,560名</u> (市内13の日常生活圏域から各120名の無作為抽出)
調査方法	郵送による配布、郵送・Web併用回収
有効回答数	1,020件(有効回答率 65.4%)

② 在宅介護実態調査（国様式）

目的	要介護者の在宅生活の継続、介護者の就労継続に有効な介護サービスのあり方を把握・分析する。
調査対象	<u>要支援・要介護認定を受け、在宅で生活している市内在住者</u>
調査方法	認定調査員による聞き取り
有効回答数	626件

③ 高齢者の健康づくり等に関する実態調査（市独自）

目的	介護予防や健康づくり、社会参加の状況等について聴取し、地域の課題・ニーズを把握・分析する。
調査対象	<u>要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の市内在住者 1,950名</u> (市内13の日常生活圏域から各150名の無作為抽出)
調査方法	郵送による配布、郵送・Web併用回収
有効回答数	1,154件(有効回答率 59.2%)

④ 介護保険サービス等に関する実態調査（市独自）

目的	介護保険サービスの利用実態、今後の生活に対する考え方等を聴取し、地域の課題・ニーズを把握・分析する。
調査対象	<u>要支援・要介護認定を受けている65歳以上の市内在住者 1,950名</u> (市内13の日常生活圏域から各150名の無作為抽出)
調査方法	郵送による配布、郵送・Web併用回収
有効回答数	1,105件(有効回答率 56.7%)

⑤⑥認知症になっても安心して暮らせるまちづくりアンケート

目的	認知症の人及び家族の声を尊重し、「新しい認知症観」に基づいた施策の在り方を検討する。
調査対象	⑤市内に在住している認知症もしくは軽度認知障害(MCI)の方 ⑥認知症もしくは軽度認知障害(MCI)の方を支援するご家族等
調査方法	郵送による配布※、郵送・Web併用回収 ※関係機関を通じて依頼 (地域包括支援センター、ケアマネジャー、 グループホーム連絡協議会、認知症カフェなど)
有効回収数	⑤ 167件 ⑥ 158件

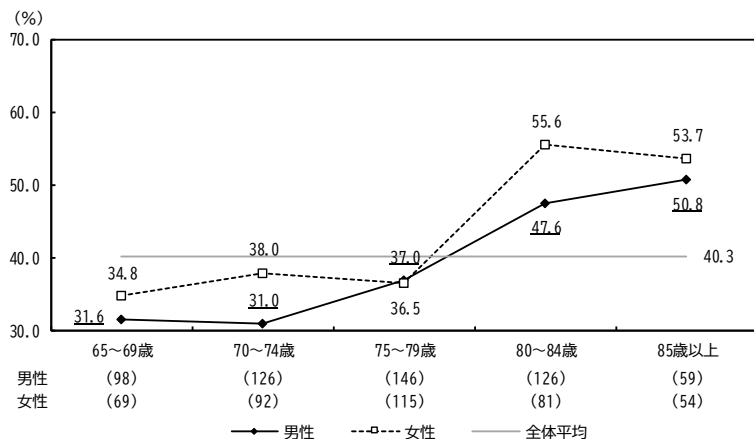
主なアンケート調査結果

① 高齢者の生活実態等に関する調査 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

○認知機能・社会参加の低下が年代上昇とともに顕著

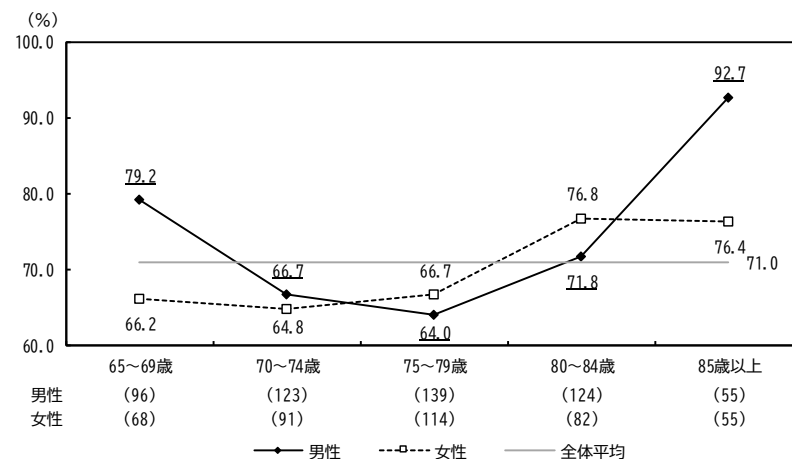
認知機能低下のリスクがある人が全体平均で40.3%該当し、年代が上がるほど該当者も増加しています。また、高齢者の社会活動に関する項目も年代が上がるほど「していない」が増加傾向にあります。

【認知機能低下リスク該当者】



() 内は有効回答数

【社会的役割（高齢者の社会活動）低下リスク該当者】



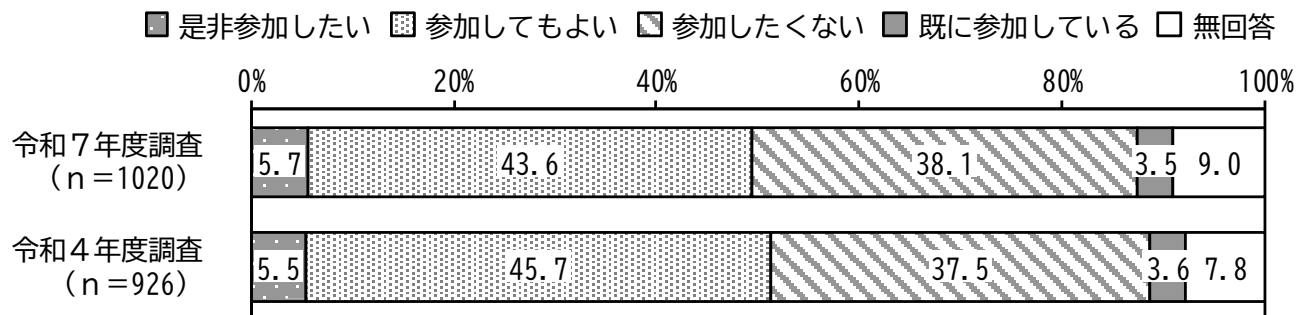
() 内は有効回答数

① 高齢者の生活実態等に関する調査 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

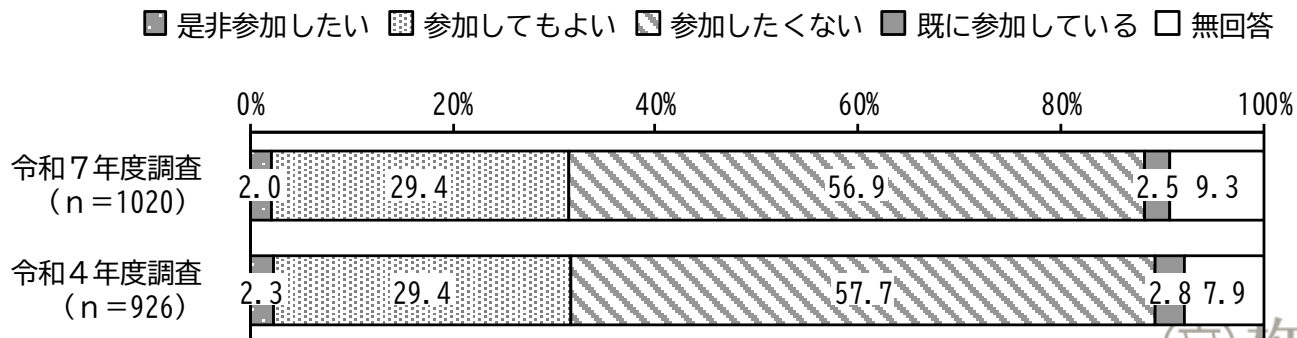
○地域活動への「参加意向」はあるが、「企画・運営」への参加は消極的

「是非参加したい」「参加してもよい」が49.3%と一定の参加意欲はありますが、企画・運営では「参加したくない」が56.9%と過半数を占めています。

【地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意欲】



【地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動への活動に企画・運営としての参加意欲】

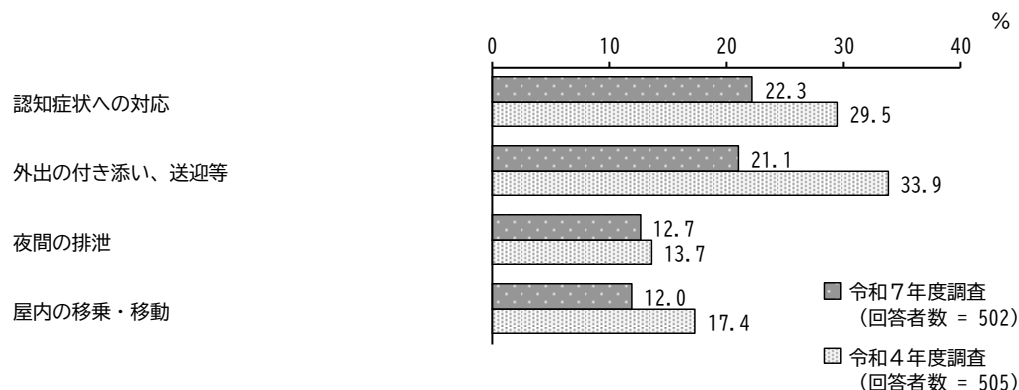


② 在宅介護実態調査

○介護者の負担は「認知症状への対応」「外出の付き添い」が中心

「認知症状への対応」が22.3%で最も多く、「外出の付き添い」が21.1%となっています。
前回調査より割合が減少していますが、依然上位となっています。

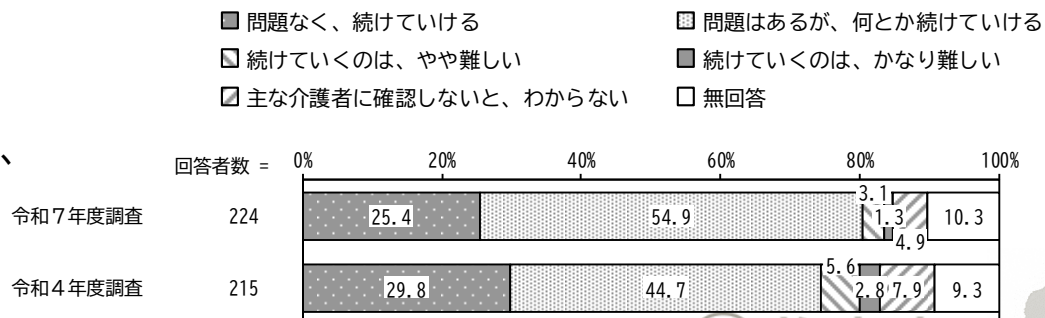
【主な介護者が不安に感じる介護等】



○働く介護者は勤務調整が増加し、半数以上が「問題はあるが続けられる」と回答

勤務調整（短時間勤務・休暇取得）が増加しており、「問題はあるが、何とか続けていける」が前回調査より増加し、54.9%となっています。

【仕事を継続しながらの介護】

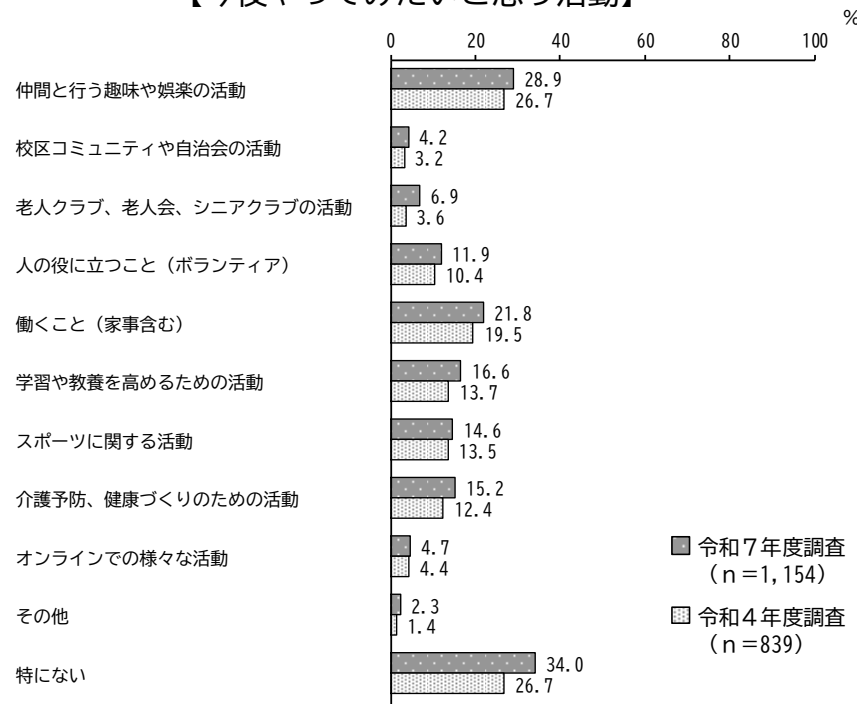


③ 高齢者の健康づくり等に関する実態調査

○趣味や娯楽、働くことに対する意欲は高いものの、「今後やりたいことは特にない」も高い

「仲間と行う趣味や娯楽の活動」の割合が28.9%と最も高く、次いで「働くこと（家事含む）」の割合が21.8%となっていますが、一方で「特にない」の割合が34.0%と増加しています。

【今後やってみたいと思う活動】

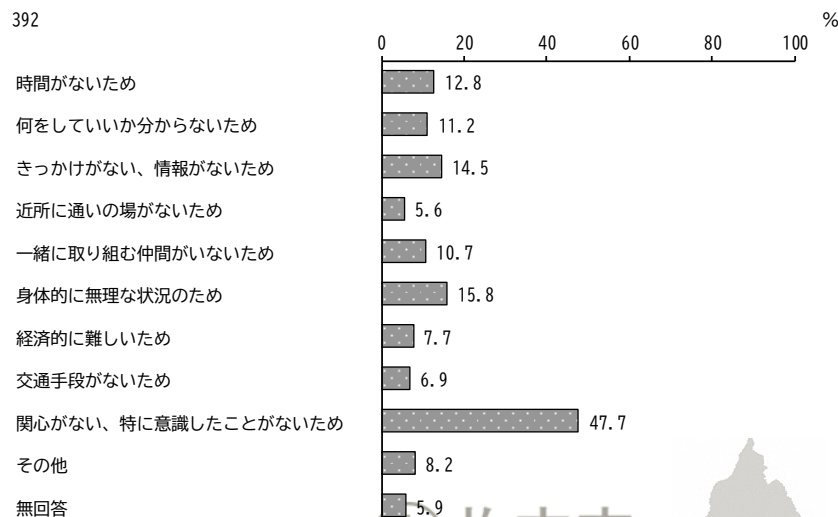


○今後やってみたいと思う活動が特にない理由は、「関心がない、特に意識したことがない」が最多

「関心がない、特に意識したことがないため」の割合が47.7%と最も高く、次いで「身体的に無理な状況のため」の割合が15.8%、「きっかけがない、情報がないため」の割合が14.5%となっています。

【今後やってみたいと思う活動が特にない理由】

n = 392

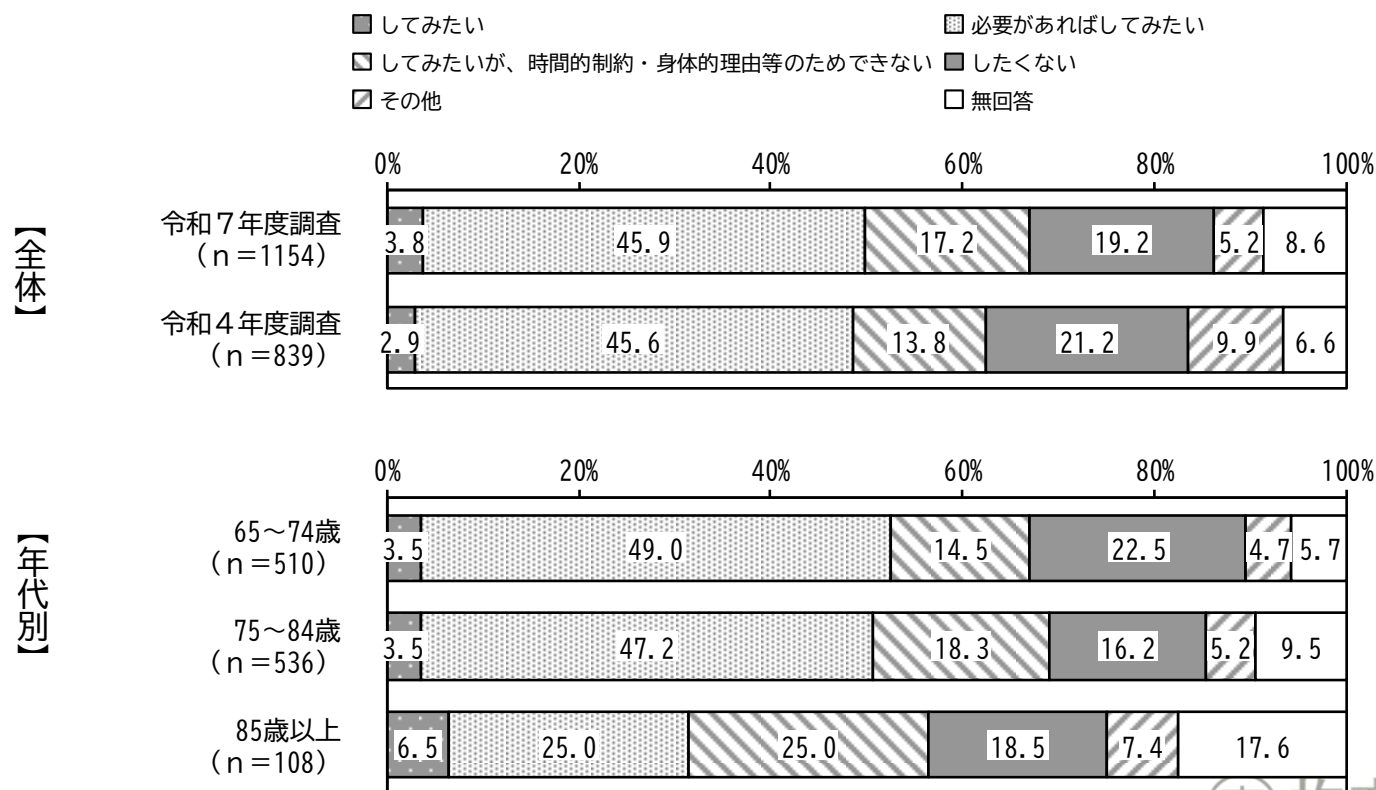


③ 高齢者の健康づくり等に関する実態調査

○高齢者同士の支え合いに一定の意欲がある人は約半数いるが、加齢とともに「できない」人が増加

「必要があればしてみたい」が45.9%と高いものの、年代が上がるほど「してみたいが、時間的制約・身体的理由等のためできない」が増加しています。

【高齢者同士の支え合いによる生活支援活動への参加意向】



④ 介護保険サービス等に関する実態調査

○在宅希望者のニーズは訪問介護・福祉用具・
デイサービスが中心

「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が57.5%で最多となっています。

■ 令和7年度調査
(n=299)
▨ 令和4年度調査
(n=192)

訪問介護（ホームヘルプサービス）/予防訪問事業

訪問入浴介護

訪問看護

訪問リハビリテーション

通所介護（デイサービス）/予防通所事業

通所リハビリテーション（デイケア）

短期入所（ショートステイ）

居宅療養管理指導

福祉用具貸与

福祉用具購入費の支給

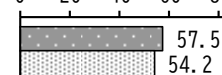
住宅改修費の支給

生活援助訪問事業

【受けたいサービス】

%

0 20 40 60 80 100



活動移動支援事業

通院等移動支援事業

教室型通所事業

リハ職訪問通所指導事業

リハ職行為評価事業

栄養士派遣指導事業

認知症対応型通所介護（認知症専用デイサービス）

小規模多機能型居宅介護

看護小規模多機能型居宅介護

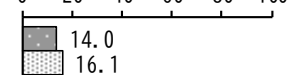
定期巡回・随時対応型訪問介護看護

夜間対応型訪問介護

無回答

%

0 20 40 60 80 100



④ 介護保険サービス等に関する実態調査

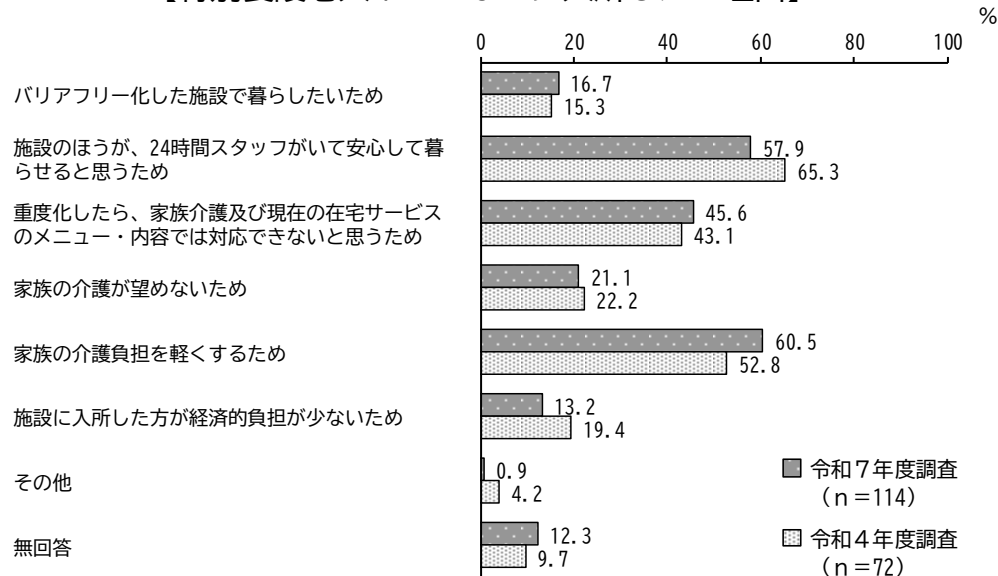
○施設入所希望の理由は“家族の介護負担軽減”が最多

「家族の介護負担を軽くするため」が60.5%で最多となっており、前回調査から増加傾向にあります。

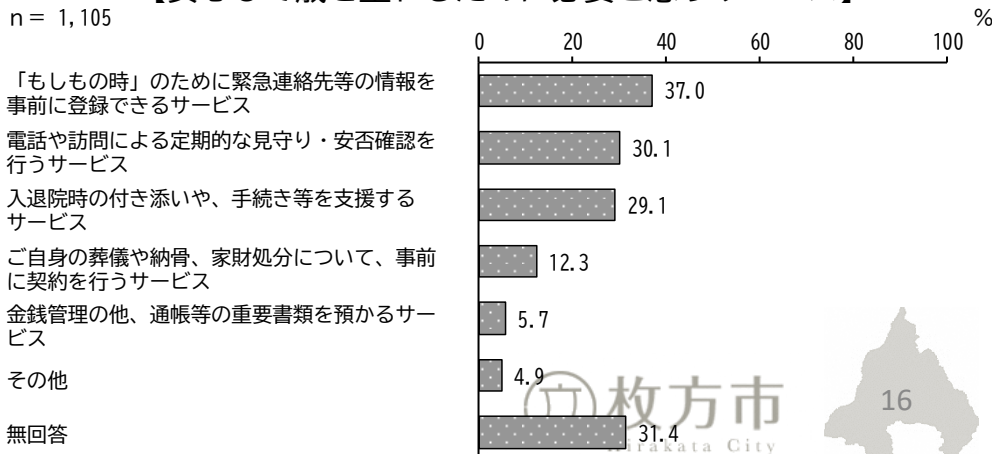
○安心して暮らすために必要なサービスは“緊急時対応”と“見守り”が中心

「緊急連絡先等の情報を事前に登録できるサービス」が37.0%で最多、「定期的な見守り・安否確認」が30.1%となっています。単身高齢者の増加を背景に、見守り・緊急対応のニーズが高い傾向にあります。

【特別養護老人ホームなどに入所したい理由】



【安心して歳を重ねるために必要と思うサービス】



⑤ 認知症になっても安心して暮らせるまちづくり アンケート(当事者)

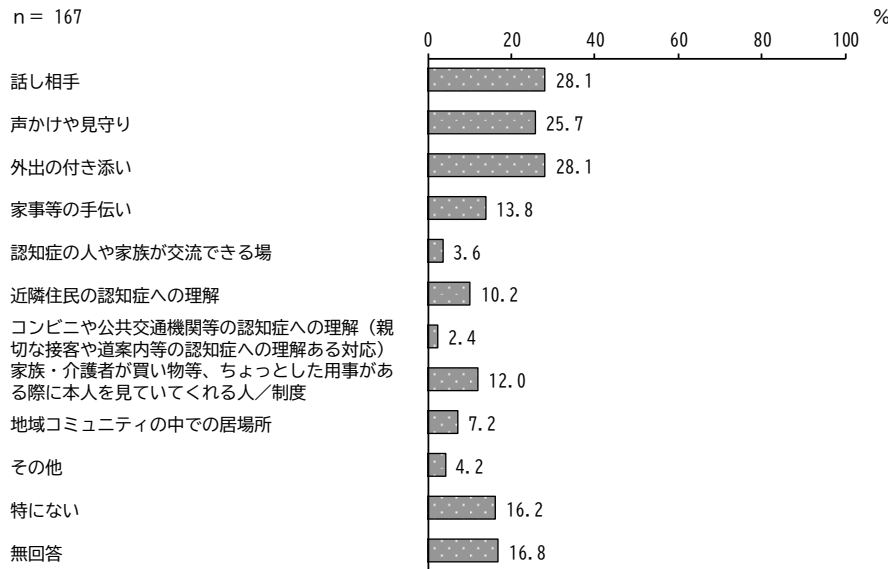
○必要なサポートは“話し相手”“外出付き添い”“見守り”が中心

「話し相手28.1%」「外出付き添い28.1%」「見守り25.7%」が高い傾向にあります。

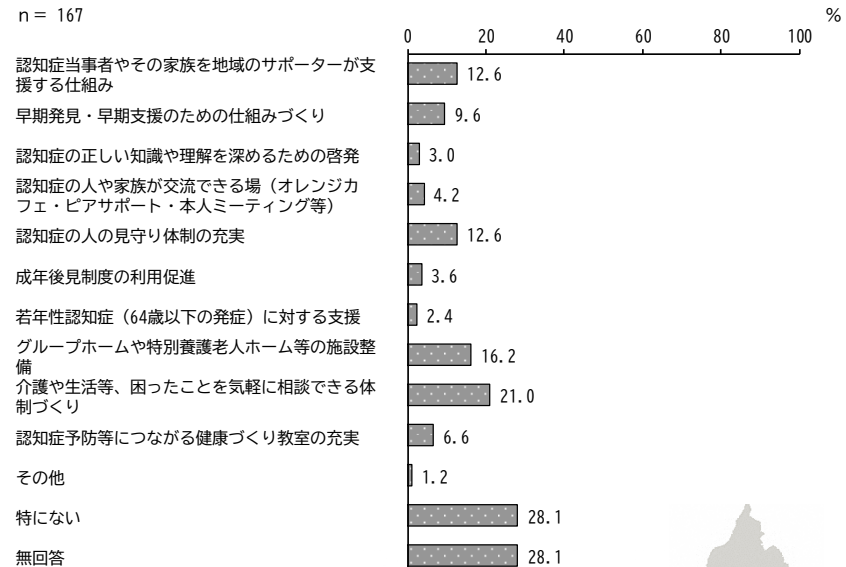
○市に求める施策は“相談体制づくり”が最多で、施設整備・見守り体制も強いニーズ

「気軽に相談できる体制づくり21.0%」が最多で、「施設整備16.2%」「サポーターによる支援、見守り体制12.6%」が高い傾向です。

【認知症の人も暮らしやすい社会のために必要なサポート】



【認知症施策として市に取り組んで欲しいこと】



⑥ 認知症になっても安心して暮らせるまちづくり アンケート(家族等)

○必要なサポートは「話し相手」「見守り」「外出支援」が中心

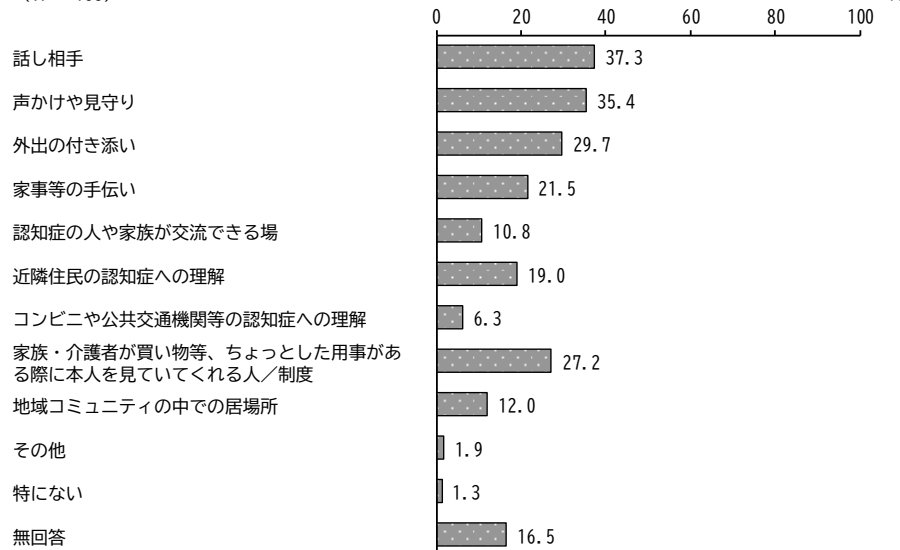
「話し相手（37.3%）」「見守り（35.4%）」「外出付き添い（29.7%）」が高い傾向にあります。

○市に求める施策は「サポーターによる支援」「施設整備」「見守り体制」が上位

「サポーターによる支援42.4%」「施設整備38.6%」「見守り体制32.3%」「気軽に相談できる体制づくり31.0%」が高い傾向です。

【認知症の人も暮らしやすい社会のために必要なサポート】

(n = 158)



【認知症施策として市に取り組んで欲しいこと】

(n = 158)

